

A-23 STZ誘発糖尿病合併妊娠ラットの脂肪組織および  
骨格筋におけるGLUT4発現について

山田幸治 前川有香 日下秀人 川口香 菅谷重弓  
杉山隆 豊田長康 (三重大学産婦人科)

糖尿病合併妊娠におけるインスリン抵抗性を評価するために、ラットの脂肪組織、骨格筋のGLUT4タンパク発現を検討した。脂肪組織においては、GLUT4タンパクの発現は、正常妊娠、糖尿病非妊娠群で、正常非妊娠群に比し、有意な低下を認めた。そして、糖尿病合併妊娠群では、さらなる低下を認めた。一方、骨格筋においては、各群で変化がみられなかった。脂肪組織でのGLUT4mRNA発現を検討したところ、正常妊娠、糖尿病合併妊娠群で、正常非妊娠群に比し、有意な低下を示したが、糖尿病非妊娠群では、変化がなかった。以上より脂肪組織でのGLUT4タンパク発現の低下は、少なからず妊娠、糖尿病でのインスリン抵抗性に関与しているものと思われた。そして、糖尿病合併妊娠では、GLUT4タンパクのさらなる発現の低下により、より深遠なインスリン抵抗性が引き起こされるものと示唆された。